

湊地区 復興事業説明会 議事録（摘録）

日 時：2011/11/30 14：00～15：30

対 象 町 名：川口町一丁目、川口町二丁目、大門町一丁目

総参加者数：251名（参加地権者数：229名／399名）

※ 会場のキャパシティをオーバーしたため、会場を2つに分けて説明を実施

1 開会

2 挨拶：基盤整備課長

3 説明事項（30分程度）

◇地区の復興計画について

◇まちづくりと住宅の建設に関わる事業等について

4 意見交換

◇第1会場（60分程度）

- ・湊の移転先はあくまで渡波か。蛇田に行くことはできないか。  
⇒今後実施する個人意向調査により皆様のご意向を確認し、そのうえでご説明します。
- ・移転に伴う建物補償はあるか。  
⇒詳細な計画が決まった段階で建物調査を行います。  
地域では「全壊でも補償が出るのだから残しておいた方が得だ」という話も出回っているようだが、リフォームしている家屋としていない家屋では価値の差が生じます。
- ・産業系ゾーンは市が買い、その資金を基に新市街地の土地を買い、ということで良いか（代替地の提供ではないという認識で良いか）。  
⇒結構です。また、借りるという選択肢もあります。
- ・どんなに被害をもたらしたとしても川と海は石巻の貴重な財産。これを活かしたまちづくりをしてほしい。
- ・（復興基本計画の説明会で）市長が中瀬の上流側と下流側に二本の橋を架けると明言していた。便利になって非常に良いのだが、実現できるのか。また、橋の位置はどこか。  
⇒3次補正が通った段階だが、まだ市には予算がきていません。予算が確定すれば、実現性とスケジュールについてもお話しできると思います。

橋の位置については、内海橋の北側（架け替え）と南光門脇線の延長線上（鎮守大橋）です。これらは河川堤防の高さや位置によって構造が決まるため、それを待って決定されます。

- ・新市街地の建設が H26 以降となっているが、その間は仮設住宅や民間借り上げ住宅に入ったままで良いということか。仮設は延長も大丈夫だろうが、民間の住宅は取扱いが異なるので不安である。いきなり出ていけという話になっても困る  
⇒仮設住宅や借り上げ住宅の入居期限等については、延長を要望しています。

- ・蛇田にしろ渡波にしろ、農地である。田に家を建てる場合、土の関係で 5 年～10 年かかると聞いたことがある。実質どれくらいの期間がかかるものなのか。  
⇒石巻市街地には高台や大規模な空地がないため、農地を移転先とせざるを得ない状況です。ボーリング等の調査を行い、土の状況を考えながら実施することになります。そのうえで、必要があれば地盤改良を行うなど、早期化に向け必要な措置を採ります。

- ・生活再建支援制度の加算支援金が 37 か月。この期間内で住宅再建は無理なのではないか。  
⇒延長を要望しています。結果が判明次第皆様にお知らせします。  
⇒3 次補正が通った段階だが、まだ市には予算がきていません。予算が確定すれば、実現性とスケジュールについてもお話しできると思います。  
橋の位置については、内海橋の北側（架け替え）と南光門脇線の延長線上（鎮守大橋）です。これらは河川堤防の高さや位置によって構造が決まるため、それを待って決定されます。

- ・個人個人への話し合いはいつから始まるのか。危険な区域になって居住できないことは明らかなのだから、早く話し合いを始めるべきだ。  
⇒意向調査は、12 月 10 日前後で配布できるよう準備中です。（オオバ）  
⇒災害の危険性をさらに検証し、それがはっきりした段階で、個別の聞き取りを始めます。（市）

- ・先日の説明会を含め、何度も集められて困っている。個人宅に来てははっきり説明してほしい。

- ・代替地は先着順で決まるのか  
⇒移転先の詳細な位置の決め方などについても、これから決めます。

- ・どんどん高齢の方が増えている。新市街地では、病院や市役所支所、学校など、住む

のに必要な施設はどうか。また、交通の便をどのように考えるか。

⇒新しい街であるため、病院や学校などの公益的施設も併せて検討しています。

- ・津波だけでなく、台風や大雨も災害である。高盛土道路を造ってしまうと、その中は貯水池になる可能性がある。排水環境をどのように考えているか。

⇒地盤沈下により、少々の雨でも冠水する状況だということは重要な課題と認識しています。抜本的に排水計画を見直す考えです。たとえば、新しい排水ポンプ場をこまめに作ることなどを構想しています。

- ・明日、明後日に津波が来た場合、避難所などに適切な備え（備蓄等）はあるか。

⇒担当外のため、詳しくお話しすることができません。防災部局で防災計画の見直しや備蓄方法の検討などを行っていると思います。

#### ◇第2会場（60分程度）

- ・産業系ゾーンの土地と新市街地の土地との価格差はあるのか。

⇒元々の土地の価格はこれから鑑定や調査を行い決めたい。新しい住宅団地の土地の価格も整備後にこれから定める。どうしても両者の価格差が生じた場合は何らかの支援を考えたい。明確なルールができていないので、今のところ明言できない。

- ・新市街地の1宅地あたりの面積は小さくならないのか。

⇒意向調査で皆さんの意見をまとめて決めたい。建築制限等は伴ってくる。買取が厳しい方に対しては借地という方法も用意する。

#### ～北上下流説明～

- ・北上川の堤防はどの範囲まで整備するのか。

⇒100mは調査の範囲。右岸は石巻大橋まで。左岸は真野川水門まで調査する予定。

- ・産業系ゾーンに工場・住居を持っている。地盤沈下が激しいが、今後整備するにあたって盛土はしないのか。

⇒産業系ゾーンで区画整理という手法を使うが、極端な盛土はできない。排水方式の検討をも合わせて行っている。

- ・湊地区の説明会で宅地はかさ上げなどの補償すると聞いた。事業所の場合は適用になるのか。

⇒区画整理事業を行えば、宅地造成で盛土することはできる。補償ということではない。局所的な場合は、建物の持ち上げもできるが、明確な答えはできない。

- ・土地の買取価格の決まりはあるのか。

⇒土地の評価で行うがこれから決定する内容なので明確な回答はできない。

- ・産業系ゾーンの移転先は新渡波地区だけか。公営住宅も蛇田にいけないのか。  
⇒湊地区の移転先としては東部地区、渡波地区を予定している。公営住宅は中学校の学区ごとにまとめて配置する予定。何らかの抽選という手法をとる。蛇田も移転先にできるかは、意向調査の結果で検討したい。
- ・公営住宅の間取りはどのくらいか。  
⇒2LDKが多くなる見込み。数種類の間取りを用意する予定。
- ・日和大橋と中瀬との間の橋は決定か。  
⇒計画段階で、都市計画決定までは至っていない。
- ・産業系ゾーンの範囲を知りたい。  
⇒図面で説明。
- ・高盛土の幅は何mか。  
⇒道路の幅は18m。盛土の幅は全体で約40mとなる予定。
- ・このような説明会はどのくらいのペースで進めるのか。  
⇒このような説明会は33会場です。12/17まで続く。年明けに次回の説明会を行いたい。今後はもっと少人数で、わかりやすい説明会としたい。
- ・金額的なものはいつ決定するか。  
⇒来年の3月を目指して決定するようにしたい。
- ・代替地の新蛇田・新渡波の詳しい情報を知りたい。
- ・石巻市外に出たいが、そのような人には支援はあるのか。  
⇒防災集団移転事業での支援なので、ある程度まとまった人数での移転の場合の適用となる。今現在はそのような方への支援はない。引っ越し費用は該当できるように調整している。
- ・市役所で移転先の土地の紹介をしてくれるのか。  
⇒市で検討中。支援策を国に要望している。
- ・産業系ゾーンに借地で住居と工場がある。住宅ローンが残っている、土地を買うこと

ができない。支援策はあるのか。

⇒本日明確な回答をすることはできない。このような事例があったことを報告する。

建物は調査の上、補償はされる。

- ・生活再建支援制度の37か月、および仮設住宅の入居期間2年は延長しないのか。

⇒延長してもらうように国に要望中。

- ・新渡波のおおよその規模はどの位か。

⇒780戸～790戸を確保する。一区画は約70坪となる予定。

以上